

新聞に掲載されました！

第 58 回研修会の活動が琉球新報に掲載されました！！

琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

第36688号

(日刊)

2011年(平成23年)

2月26日 土曜日
[旧1月24日・赤口]

発行所 琉球新報社
〒900-8525那覇市天久905番地
電話 098(865)5111
©琉球新報社2011年



ごみについて意見交換する留学生と生徒ら＝24日、名護市の済井出ビーチ

外国人留学生36人来県

屋我地中学生徒と海岸清掃

【名護】共立国際交流 地中学校の生徒31人と同奨学財団の研修事業で沖市の済井出ビーチを清掃する。地方の文化や生活を理解することを目的に、21～26日の日程で県内に滞在している。

屋我地中1年の松田龍君は「狭い海岸にこんなにゴミがあるとは思わなかった。ゴミを出さないようにしたい」と話した。

24日は6班に分かれ、ゴミを1時間拾った後、各班が最も驚いたゴミを発表した。国士舘大学4年のグエン・ミ・フーさん(24)「ベトナム」は「日本に近い中国や韓国のごみが多いかと思ったが、ベトナム製のペットボトルもあった」と驚いていた。

指導した「羽地内海の自然を守り育む会」の坂下宙子事務局長は「県内で処理できず本土に持っていくといけないゴミもある。なるべくごみ

大量の「漂着ごみ」に驚く

名護

ウィーク

11 新報移動編集局